

施主支給マニュアル (エコキュート編)

I. オール電化適応性チェック

お客様の住宅は本当に「オール電化住宅」に向いていますか…？

「オール電化住宅は安心・清潔・経済的！」と思い「それっだったら我が家もオール電化にしよう！」と簡単に判断してしまうと、後で「あれっ？」となることも…その前に、本当にオール電化住宅に適しているかチェックしてみましょう！

Q1：自営業を営まれていませんか？

オール電化住宅の電気契約は「電化上手」(季節別時間帯別電灯)という契約になります。この契約は、日中(10時～17時)は一般的な従量電灯契約よりも単価が高いのです。つまり、日中に多く電気を使用するご家庭には「電化上手」の契約は向いていないのです。

どうしてもということであれば、分電盤を2つに分ける(エコキュート等を電化上手契約とし、その他を従量電灯契約とする)ことで対処できますが…



Q2：お湯の使用量にむらがありませんか？

もし1日お湯を使用しなかったとしたら、その夜間は沸き上げず、タンク内の湯温度はどうしても下がります(80 60 程度)。そうすると、翌日のお湯の使用量は80の時に比べ減りますので湯切れを起こす可能性があります。また、日常のお湯の使用量を学習して無駄なお湯を作らないよう『効率的に沸き上げる機能』がついているため、極端に使用する量が多くなったりすると湯切れする可能性があります。

湯切れを起こしてもお湯が使えないというわけではありません。昼間の高い電気代で強制的に沸き上げれば使用できます。

これらのように、単にオール電化にしたから電気代が安くなるというわけではなく、上手に電気を使いこなすことで「オール電化」のコストパフォーマンスが生まれるのです！

どうでしたか？

お客様の住宅は「オール電化」に適していると判断されましたか？

適していると判断されましたら、「オール電化におけるサポート」および「施工時における留意事項」等をご説明致しますので次のページをご覧ください！

II. オール電化における充実したサポート

エコキュート導入補助金制度

国（経済産業省）もエコキュートなどの高効率給湯器に導入補助金制度を設け、これらの機器の普及拡大を支援しています。平成19年度の補助金は¥45,000/台
市町村等でも補助金制度を採用している区域がありますのでご確認願います。

ECOサポートプラン

エコキュートをご購入されたお客様と東京電力のパートナーシップによりCO₂を削減して地球温暖化防止につなげていく新しい取り組みです。

ECOサポートプランにお申し込みいただくと、「5,000円と削減証明書」を贈呈！

さらに抽選で1泊2日の「ECOツアー」にご招待！（100組200名さま）

ECOサポートマネー5,000円は、エコキュート1台のCO₂削減量を金銭価値に換算したものです。

「グリーン購入」の対象にも

「グリーン購入」とは製品やサービスを購入する際、環境に配慮し、必要性を考え、環境への負荷が出来るだけ少ないものを選んで購入することです。2001年4月から「グリーン購入法」が施行され、国などの機関に義務付けるとともに地方公共団体や事業者、国民にもこれを努めることを求めています。エコキュートはこの「グリーン購入」の対象となっております。

メーカーのアフターサービス

一般的に給湯器：2年、コンプレッサー：3年、タンク：5年の保証が無償で受けられます。また、保証期間を延長できるシステム（有償）もあります。

オール電化住宅ローンの金利優遇

オール電化住宅は、新築・購入および増改築などの際、住宅ローンの金利が大幅に優遇されますので、各取扱い金融機関にお問い合わせをご確認願います。

●たとえば、中央三井信託銀行の場合、変動・固定金利で店頭表示金利より

全期間（年利） **1.1%** 金利優遇

※お支払い金額は返済額により、金利優遇内容が変動する場合があります。

●具体的には…

3,000万円を30年返済でお借入の場合
（元利均等返済、ボーナス返済なし）

通常金利（変動金利型）	年利率 2.625% ▶ 毎月のご返済額 120,495円
最優遇金利（変動金利型）	年利率 1.525% ▶ 毎月のご返済額 103,896円

1年間で >>>>>>> **199,188円** もおトクです。
30年間で >>> **5,975,550円** もおトクです。

※実際には、毎月のご返済額、元金返済額が異なる場合があります。
※対象：中央三井信託銀行「平成19年3月適用金利」
※金利変動がなかった場合は比較となります。金利変動があった場合は、差額も異なります。

火災保険の割引適用

オール電化住宅は従来の住宅に比べて火災リスクが低いため、火災保険への割引が適用される場合がありますので、各損害保険会社へお問い合わせをご確認願います。

●試算例（A社の場合）

東京都世田谷区の新築住宅（100m²）
保険金額2,000万円、保険期間20年（長期一括払）の場合
※下記保険料には、すべて「新築物件長期割引」が適用されています。

鉄骨造	木造モルタル造
259,280円	418,520円
▼ -6.0%	▼ -5.2%
243,830円 (15,450円の割引)	396,780円 (21,740円の割引)

※オール電化住宅に対する割引が適用される火災保険は、保険会社によって異なります。
※各保険会社によって、割引料率は異なります。

Ⅲ. 施工時における留意事項

新築住宅にエコキュートを設置する場合は、事前に設置位置を確認し、予め、給水・給湯配管および電気配線を行っておくことをお勧め致します。

言うまでもありませんが、後施工にしてしまうと、せっかくの新築建造物に穴を開けたり、露出配管により美観を損ねたりといったことはありません。

事前に施工業者(工務店等)との打合せをお願いします。

打合せの内容は下記の通りです。

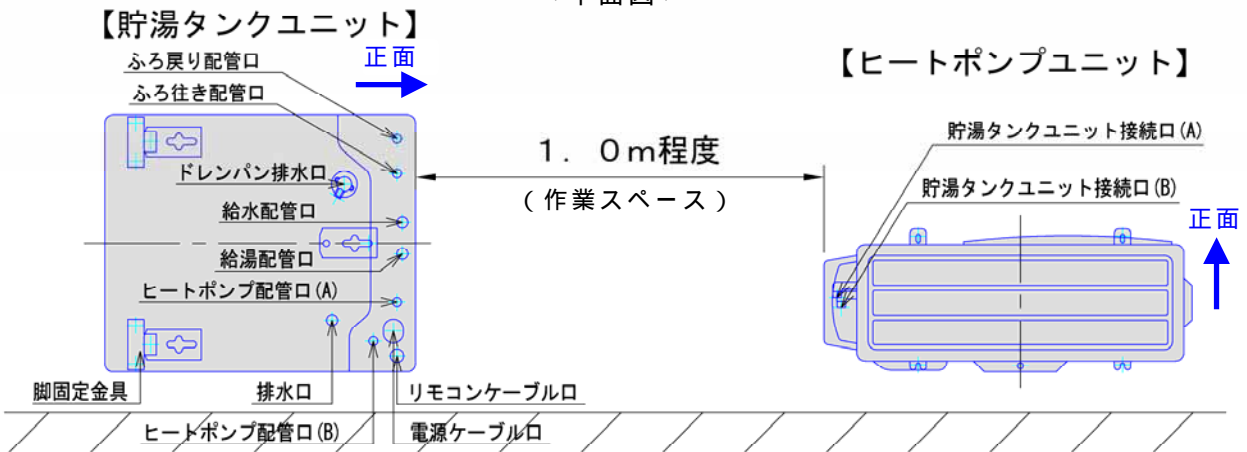
設置位置

貯湯タンクとヒートポンプの設置位置

貯湯タンクとヒートポンプとの離れは1m程度確保してください。

貯湯タンクの設置向きは、タンクの正面側とヒートポンプの接続側が向き合うように設置することをお勧めします。 ヒートポンプ配管における温度低下口入量を極力軽減するため

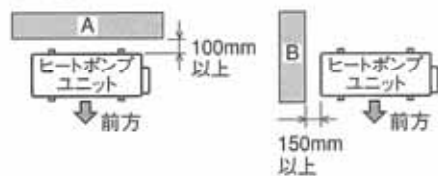
< 平面図 >



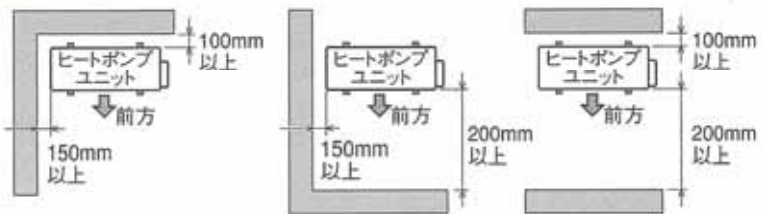
ヒートポンプの正面側から夜間冷たい風と音が発生しますので、設置位置および向きについてはそれを充分考慮して風と空気が充分に抜けるようにすることと、考慮していないことで隣家と音や風で争いがないように注意注意して下さい。(フェンスおよび風向きガイド等の設置を検討してください。)

ヒートポンプユニット単体の据付制約(上から見た図)

●1方向のみに障害物がある場合(AまたはB)



●2方向または吹出側(前方)に障害物がある場合



3方向に障害物がある場合は設置不可能です。

建築工事

貯湯タンクの基礎コンクリート

貯湯タンクの設置位置を確認し、基礎コンクリートを事前に施工しておいてください。

基礎コンクリートには、ひび割れ・剥落防止のため鉄筋はきちんと配置してください。天端4辺を面取りすると仕上がりがきれいです。

貯湯タンクに接続される配管を基礎コンクリートに埋設する場合は、事前に配置しておいてください。



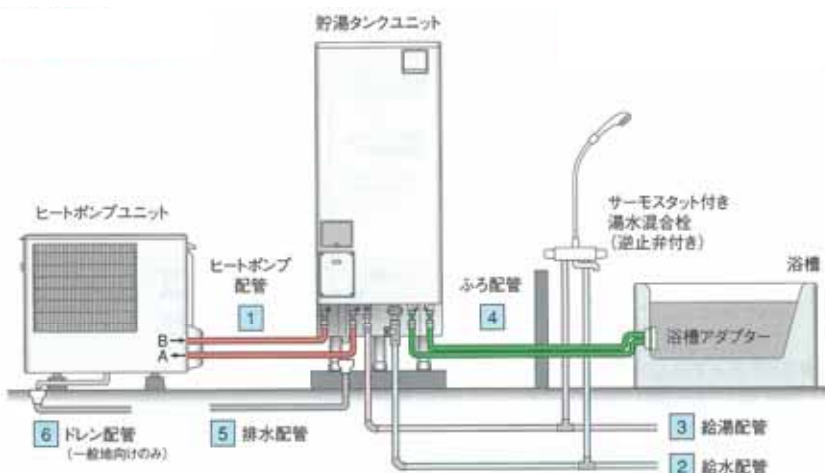
給湯・給水配管・浴槽循環配管・
ヒートポンプ循環配管・本体電源線(200V)及びアース線・
ヒートポンプ電源線およびアース線・リモコン線・排水配管



配管工事

給水・給湯配管，ヒートポンプ配管，ふろ配管および排水配管

標準配管は下図の通りですが、配管は極力土中に埋設することをお勧めします。



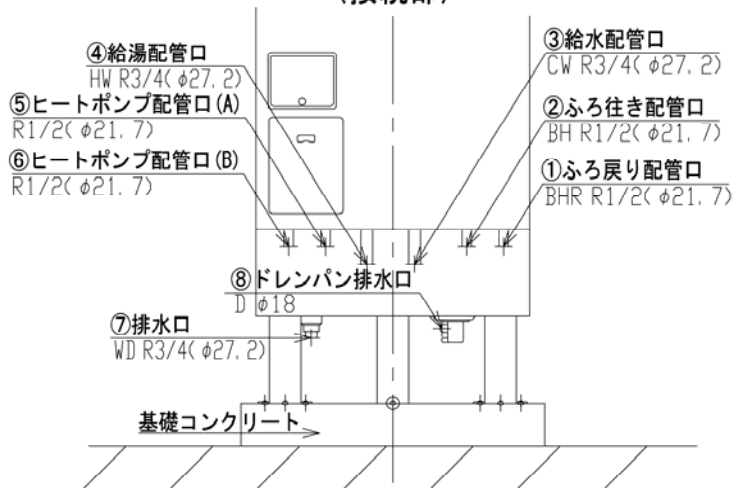
貯湯タンクユニット部の接続付近配管は、基礎コンクリートを貫通させることにより配管が隠ぺいできるののできれいに仕上がります。

なお、上記標準配管図以外に、電気工事として①本体電源線(200V)，②本体アース線，③リモコン線，④ヒートポンプ電源線，⑤ヒートポンプアース線が必要となります。

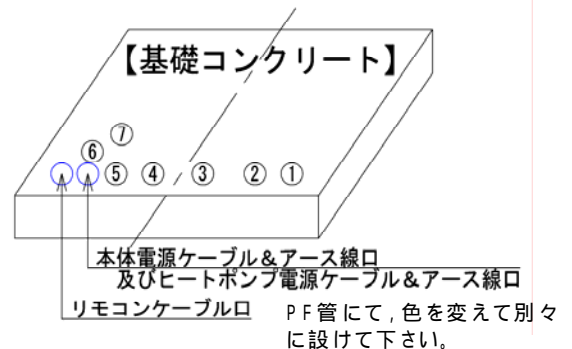
将来貯湯タンクを交換する場合は、配管の接続位置等異なる場合もありますので、その際は基礎コンクリートから解体する必要があります。「基礎を解体するのはちょっと・・・」という場合は、基礎コンクリートの手前で配管しておけば問題ありません。(上右写真)



**【貯湯タンクユニット】
(接続部)**



「⑧ドレンパン排水口」から流出する水は、タンクに穴が開く等の緊急事態に発生するものですので、「⑦排水口」と同じ流末に導水しない方がよいです。同じにしてしまうと、緊急事態に気付かずどんどん給水してしまいます。



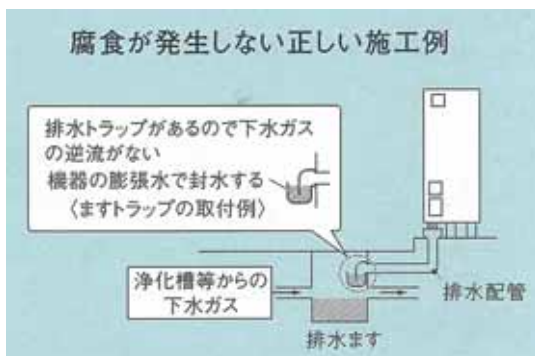
メーカーによって配管の取付位置は異なりますので、事前に確認してから配置してください。

ドレン排水の末端処理

沸上中に貯湯タンクの排水口やヒートポンプのドレンホースから少量のお湯(水)が出ますので、きちんと排水の末端処理を行ってください。

排水配管はφ50mm程度以上のものを使用し、排水口部には口径φ80mm程度以上の排水ホッパーおよび排水トラップを設置してください。

排水トラップを設置しないと浄化槽などから下水ガスが逆流して製品が著しく腐食し故障の原因にもなります。



ヒートポンプユニット用に、寒冷地では特に冬季に出るドレン排水用に、ヒートポンプユニットの下に排水配管を設けて下さい。

電気工事

電気配線

エコキュート（および電気温水器）用のブレーカーは、一次分岐と二次分岐の2ケース考えられます。一次分岐の場合、ブレーカーは極力屋内に設置することをお勧めします。もし、屋外に取り付ける場合は、防水処理をきちんと施すようお願いします。

「ブレーカーと貯湯タンク」、「貯湯タンクとヒートポンプ」、「貯湯タンクと各リモコン」それぞれの電気配線は、配管工事と同様、隠ぺい配線（土中配線）をお勧めします。

